

平成26年度 指定管理者制度モニタリング結果報告書

1. 施設概要

施設名	神奈川県立スポーツ会館		
所在地	横浜市神奈川区三ツ沢西町3番1号		
サイトURL	http://www.sports-kanagawa.com/works/kaikan.php		
根拠条例	神奈川県立スポーツ会館条例		
設置目的(設置時期)	スポーツの振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与するため(昭和43年1月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県体育協会		
指定期間	平成21年4月1日～27年3月31日	施設所管課	スポーツ課

2. 総合的な評価

総合評価	総合的な評価の理由と今後の対応
<p style="font-size: 48px; font-weight: bold;">A</p> <p>S: 極めて良好な管理運営状況 A: 良好な管理運営状況 B: 一部改善が必要な管理運営状況 C: 抜本的な改善が必要</p>	<p>◆管理運営等の状況 事業計画書の提案に基づいた開館日の拡大や多様なメニュー構成によるスポーツ教室の開催を通じて、利用者の拡大を図った。また、維持管理業務についても、体育館や多目的室の利用者の怪我や事故防止を図るため、適正な指導やサポートを実施することで、利用者が安全かつ安心して利用できる環境整備に注力するなど、利用者目線での施設運営を行い、事業計画書の内容どおりの取組みを実施した。</p> <p>◆利用状況 利用者数が目標達成率で6.4%のマイナスとなったためB評価となったが、利用者からの意見・要望を踏まえた施設運営に取り組んだ結果、前年対比では、5.8%のプラスとなった。広報やイベント等の告知の方法を工夫することにより、利用者の拡大を図ってもらいたい。</p> <p>◆利用者の満足度 9月と翌年3月に実施し、上位2段階の回答割合が70.3%となったためA評価となった。回収率は、利用者に対するアンケートへの協力の呼び掛けに努めた結果、95.9%と高くなった。</p> <p>◆収支状況 消費増税を理由とした指定管理料等の収入の増及び支出の増があったが、利用者の増加に伴う利用料金収入増と経費節減による支出の抑制を行った結果、収支差額は126千円によりプラスとなったためA評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 施設の経年劣化、老朽化による故障、破損に関する要望など指定管理者に起因しない要望が寄せられたが、職員による事前点検回数を増やしたり、簡易的な修繕を施すなど、適切な対応に努めている。</p> <p>◆事故・不祥事等 職員による日常の施設点検業務を着実にを行い、安全な施設運営に努めた結果、事故や大きな怪我は発生しなかった。</p> <p>以上の管理運営状況を総合的に勘案し、総合評価をA評価とした。第3期目の指定管理期間についても、第1期目(平成18年度から20年度の3年間)及び第2期目(平成21年度から26年度の6年間)の指定管理期間で培った各種取組を継続するとともに、利用者からの要望を踏まえたイベントの実施等、更なる利用拡大に努めてもらいたい。</p>

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現場確認	実施日 平成27年2月12日	特記すべき事項等があった場合はその内容
随時モニタリング 指導・改善勧告 等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>年末年始、施設点検日（原則月1回）を除く、原則無休による開館日の拡大 ※条例に定める休館日：月曜日（休日を除く）、休日の翌日（土・日・休日を除く）、年末年始</p>	<p>提案どおり、開館日を39日拡大（内訳） 4月7・14・28・30日 5月7・12・26日 6月2・9・23・30日 7月7・14・22日 8月4・11・25日 9月1・16・22・24日 10月6・14・27日 11月4・25日 12月1・8・22・24日 1月5・13・26日 2月2・9・12・23日 3月16・30日</p>	
<p>人材育成（職員育成・研修）</p>	<p>平成27年4月からの次期施設予約システム導入に伴い、迅速な利用者対応のためシステム取扱い手順等確認研修を行った。 第1回：平成27年3月13日 第2回：平成27年3月31日</p>	
<p>施設の維持・管理について</p>	<p>経年劣化による故障・修理の必要な箇所が増えているため、日常の施設点検業務を着実にを行い、安全な施設運営に努めた。</p>	
<p>スポーツ教室の開催</p>	<p>テニス教室 24コース キッズテニス（水） 春8名 夏7名 秋7名 冬21名 ジュニアテニスⅠ（水） 春14名 夏11名 秋20名 冬17名 ジュニアテニスⅡ（水） 春13名 夏17名 秋18名 冬17名 キッズテニス（金） 春7名 夏8名 秋5名 冬8名 ジュニアテニスⅠ（金） 春12名 夏9名 秋13名 冬13名 ジュニアテニスⅡ（金） 春14名 夏19名 秋22名 冬20名 ○卓球教室 6コース 硬式卓球 春25名 秋38名 冬26名 ラージ卓球 春15名 秋18名 冬18名 ○ダンス教室 6コース ダンススポーツ（初級） 春26名 秋30名 冬19名 ダンススポーツ（中級） 春30名 秋29名 冬26名 ○ジュニアスポーツ教室 11コース 幼児体操教室（3～4歳） 春12名 秋14名 冬28名 幼児体操教室（5～6歳） 春10名 秋18名 冬19名 小学生体操教室 春15名 秋23名 冬17名 幼児体操教室（4～6歳） 夏29名 小学生体操教室 夏48名 ○フィットネス系教室 11コース ○パワーヨーガ教室 春8名 夏9名 秋5名 冬6名 ヨーガ教室 春18名 夏20名 秋14名 冬17名 フローヨーガ教室 春12名 秋10名 冬11名</p>	

<p>スポーツ指導員養成・育成講習会の開催及び生涯スポーツ研修セミナーの開催</p>	<p>○日本体育協会公認スポーツ指導者養成講習会（3講座） 卓球競技 参加者 43名 バドミントン競技 参加者 30名 体操競技 参加者 23名 ○日本体育協会公認スポーツ指導者を対象に資質向上を目的とした研修会 1講座 52名 ○生涯スポーツ研修セミナー 救急法講習会 参加者 44名</p>	
<p>外部との諸機関との連携</p>	<p>○スポーツ教室は、本会加盟団体より一部講師派遣等協力を得て開催。 ○スポーツ指導員養成講習会は、神奈川県卓球協会・神奈川県バドミントン協会・神奈川県体操協会の協力を得て開催。 ○救急法講習会は、日本赤十字社神奈川県支部より指導者派遣等協力を得て開催。</p>	

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等

5. 利用状況

評価	《評価の目安》目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄 には代わりに定員数等を記載してください。
B	

	[参考] 直営/管理 委託/指定管理※2	前々年度	前年度	平成26年度
利用者数※1	44,854	45,704	40,686	43,043
対前年度比			89.0%	105.8%
目標値	[目標値設定根拠]	47,100	46,000	46,000
目標達成率	指定管理者提案値	97.0%	88.4%	93.6%

[参考：最大利用可能人数] ※利用種目、時間、流動人数など条件により異なり算出不可

						合計
定員						
年間利用可能日数						
最大人数※1	0	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%	

※1 原則は人数だが、施設の状態等により変更は可能。単位を変更した場合はその理由

※2 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」(上位二段階の評価)と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満
A	

満足度調査の実施内容	協定等に定めた調査内容	実施結果と分析
	年間2回を9月と翌年3月に調査	協定に定めた年間2回を9月と翌年3月に実施した。結果として、利用者とのコミュニケーションを積極的に図ったことが「満足」の評価につながった。

実施した調査の配付方法 窓口で配架、利用者等に直接配布 回収数/配付数 394 / 411 = 95.9%

配付(サンプル)対象 施設の利用者

	満足	どちらかといえば満足	普通	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
総合満足度の回答数	79	196	112	4	0	391	
回答率	20.2%	50.1%	28.6%	1.0%	0.0%		
前年度の回答数	53	248	168	9	1	479	
回答率の対前年度比	183%	97%	82%	54%	0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイ ナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

	〔参考〕 直営／管理委託 ／指定管理※	前々年度	前年度	平成26年度	備考
(1) 収入					
〔参考〕年度計画	23,767	22,798	23,123	24,432	
指定管理料	23,213	20,997	21,322	21,932	
利用料		2,567	2,392	2,650	
その他収入					
合計	23,213	23,564	23,714	24,582	
対前年度比		101.5%	100.6%	103.7%	
対 計画比	97.7%	103.4%	102.6%	100.6%	
(2) 支出					
〔参考〕年度計画	23,767	22,798	23,123	24,432	
支出額	23,348	23,596	23,745	24,456	
(納付金)		()	()	()	
対前年度比		101.1%	100.6%	103.0%	
対 計画比	98.2%	103.5%	102.7%	100.1%	
(3) 収支					
〔参考〕年度計画	0	0	0	0	
収支差額	-135	-32	-31	126	
対前年度比		23.7%	96.9%	—	
収入合計／支出合計の比率	99.4%	99.9%	99.9%	100.5%	

※ 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

※ の欄は記入不要。

[参考：県が支出した修繕工事費] ※県が支出する計画修繕工事・各所管繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額)
平成27年1月	128	管理棟事務室・火災ガス漏れ受信機予備バッテリー交換工事(127.1千円)

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 100千 円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内 容(金額)
収 入		
支 出		
積 立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
	対面	1 件		
施設・設備		件	施設裏側の植栽の実が道路に落ちているとの苦情	苦情を受け、実が道路に落ちないように職員が剪定作業を行った
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等)
			②県の対応状況(随時モニタリング*・改善勧告の実施等)

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。